

News Release

平成 23 年 2 月 17 日

長期増分費用方式による接続料金の認可申請について

本日、総務大臣に対し、平成 23 年度に適用する長期増分費用方式による接続料金について、接続約款変更の認可申請を行いました。

1. 長期増分費用方式による接続料金の認可申請の概要

加入者交換機(GC)及び中継交換機(IC)等の接続料金について、総務省から通知された長期増分費用モデルに基づき、平成 22 年度下期及び平成 23 年度上期の予測通信量等を用い算定しました。

また、交換機等費用に含まれる NTS コスト^{※1}については、接続料規則に基づき、き線点 RT-GC 間伝送路コスト^{※2}の全額を加算しており、それ以外の NTS コストは全額控除しております。

※1 NTS コスト(Non-Traffic Sensitive Cost): 交換機設備のうち、通信量の増減によって変化しない装置の費用です。

※2 き線点 RT-GC 間伝送路コスト: き線点 RT(Remote Terminal:メタルケーブルに収容する電話等の通信を、加入者交換機まで光ファイバで伝送するために多重化する装置)が設置されている収容局から、加入者交換機設置局までの中継伝送路に係る費用です。

○主な接続料金案

区 分	平成23年度	(3分間当たり)
		(参考)平成22年度
GC接続	5.08円	5.21円
IC接続	6.57円	6.96円

区分		平成23年度	(回線・月当たり) (参考)平成22年度
PHS基地局回線機能		1,646円	1,716円
(月当たり)			
中継伝送専用機能	MA内・24回線 (1.5Mbit/s相当) の場合	18,591円	24,711円
(月当たり)			
加入者交換機 回線対応部専用機能	〔 24回線 (1.5Mbit/s相当) ごとに 〕	27,655円	31,307円
中継交換機 回線対応部専用機能	〔 24回線 (1.5Mbit/s相当) ごとに 〕	2,478円	2,681円
中継交換機 接続用伝送装置利用機能	〔 672回線 (50Mbit/s相当) ごとに 〕	24,909円	27,482円
(1件当たり)			
加入者交換機等 接続回線設置等工事費 〔 672回線(50Mbit/s相当)ごとに 〕	定期申込み	180,898円	190,500円
	随時申込み	302,099円	318,136円

2. 実施時期

総務大臣の認可を得た後、平成23年4月1日(金)から適用します。

本件に関するお問い合わせ先
 NTT 東日本
 経営企画部 営業企画部門
 TEL : 03-5359-3930
 E-mail : kikakur@sinoa.east.ntt.co.jp